

ATTENTION!

PLEASE MAKE SURE TO READ THIS DOCUMENT BEFORE THE USE OF THIS HELMET AND KEEP IT FOR FUTURE REFERENCE.



MOTORCYCLE VINTAGE HELMET

NOTES BEFORE USE:

Thank you for purchasing an KABUTO helmet. This manual explains how to use your KABUTO helmet correctly. Please take time to read this instruction manual before using the helmet, and keep the manual in a safe place for future reference. No helmet can protect the user 100% in any case of accidents, but it can reduce the risk of injury. Please make sure you understand the following cautions and enjoy riding your motorcycle safely.

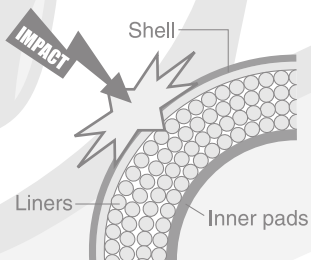
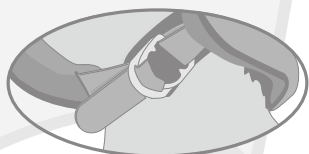




How to wear the helmet correctly.

The helmet is designed to be retained by a strap under the chin.

In order to assure proper protection, the helmet should be tight fit. When worn, adjust it to rest properly on the head, tightly fasten the chinstrap to ensure safety. The chinstrap prevents the helmet from coming off in most cases, even when its rear portion is pulled upward. Even a helmet cannot offer protection under all circumstances against any eventuality.

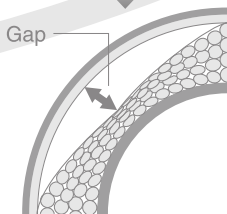


How to cope with the helmet undergoing impact.

Liners are essential for the intended performance of the helmet.

This helmet has been so designed that some of impact energy can be absorbed when such components as shell and liners are partially destroyed by an impact. Even if visually no damage is apparent, it could be seriously damaged by a small impact. Regardless of the degree of damage, a helmet that underwent an impact or was abused even only once, should not be used anymore.

Because the helmet may be damaged even by a small impact, always handle it carefully and make sure that no one sits on it or drops it.





OGK KABUTO Co.,Ltd.

6-3-4,NAGATANISHI,HIGASHI-OSAKA 577-0016,JAPAN. TEL:06-6747-8031

KABUTO

Search!

⚠ ATTENTION!

PLEASE MAKE SURE TO READ THIS DOCUMENT BEFORE THE USE OF THIS HELMET AND KEEP IT FOR FUTURE REFERENCE.



The remodeling of the helmet is absolutely prohibited.

In order to fully maintain the performance of this helmet, do not attempt to take it apart or change it in any manner that involves making holes in it, or cutting it (or any of its parts).



Do not Paint or apply solvent.

Any paint, glue, adhesive stickers, etc. (or the use of detergents and solvents other than those prescribed) may not only reduce the original protective performance of the helmet considerably, but may also cause damage to the helmet that cannot be detected by the naked eye. At all times refrain from using any of these.

Helmet care and cleaning

To clean the helmet, use common ph-neutral detergent diluted with clear water. The cloth should not be soaking wet, then wipe it gently with dry cloth. Finally wipe away the detergent solution by using a cloth rinsed in clear water, and leave the helmet to completely dry, but not in direct sunlight. With regard to helmets with removable inner shells, carefully read the instruction manual for that model before attempting to remove the inner portion and carry out cleaning according to the explanation provided.

To clean the helmet, not use salt water or hot water (above 50°C)



ご使用になる前に

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、ヘルメットの正しい取扱方法について説明しております。

ご使用前には必ず最後までこの説明書をお読みいただき、お読みの後は、当説明書を大切に保管していただきますよう、お願いいたします。ヘルメットは、いかなる事故にも絶対という訳ではなく、万一の際に危険の度合いを減らす装備の一つで、安全の一要素としてご理解のうえご使用ください。安全快適なモーターサイクルライフを楽しむためにも、以下の注意事項をよくご理解いただけますようお願いいたします。

頭に合ったサイズのヘルメットを、お選びください。

大きすぎるヘルメットは、走行中ぐらつき危険です。また小さすぎるヘルメットは、頭を締めつけ痛くなる可能性もあるので、頭によく合ったヘルメットをお選びください。

あごひもは必ずしっかり締めてください。

あごひもを締めなかったり、締め方がゆるいと、万一転倒した時などに脱げてしまい、頭を守る事ができず非常に危険です。

大きな衝撃を受けたヘルメットは外観上に損傷がなくても、ご使用にならないでください。

ヘルメットはシェル及び衝撃吸収ライナーが潰れることで、衝撃エネルギーを吸収します。大きな衝撃を受けたヘルメットは、既にライナーが潰れている場合が多く、そのまま使用すると、再度衝撃エネルギーを吸収できず非常に危険です。外観にキズ等がなくても、使用しないでください。

ヘルメットの改造は絶対にしないでください。

ヘルメットに穴を開けたり、内部の衝撃吸収材を削ったり、また、あごひもなどは絶対に改造しないでください。ヘルメット本来の性能が発揮できなくなり非常に危険です。

ヘルメットのお手入れは薄めた中性洗剤でふき取るようにしてください。

ガソリン、シンナー、ベンジン、熱湯（50℃以上）や、塩水等は絶対に使用しないでください。

ヘルメットを塗りかえる時のご注意

シェル及び衝撃吸収ライナーは、塗料や熱の影響により材質が侵され、衝撃吸収力が低下する場合があります。また、乾燥に50℃以上の熱を必要とする塗料は使用できません。ヘルメットを塗りかえる必要のある場合は専門の業者にご依頼ください。

ヘルメットは大切に取扱ってください。

ヘルメットは丈夫だからといって、床等に放り投げたり、上に座ったりしないでください。

その度に衝撃を吸収するため、衝撃吸収力が低下します。万が一の為に大切に取扱ってください。また、乗車時での頭を保護する以外の目的には使用しないでください。

ヘルメットの保管について

ヘルメットは直射日光の当たる車の中や、暖房機のそばなど、高温（50℃以上）の場所に長時間放置しないでください。（ヘルメットに使われている材質が変質して、性能が低下します。）

シールドのお手入れについて

シールドの汚れを取るときには、柔らかい布を使い、薄めた中性洗剤で汚れをふき取り、最後に清水ですすいだ布で拭きあげてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

フルフェイスヘルメット使用上のご注意

フルフェイスをご使用の場合、走行中のヘルメット内はほぼ一定の温度ですが、高速度で移動しているため周辺的环境は常に変化しています。そのため、突然の雨やトンネルに入った直後、峠道など高低差がある場合は、ヘルメット内の温度と周辺との気温差が生じるため、シールドが急激に曇ってしまう場合があります。このような状況が予想される時は、あらかじめシールド開度の調整や適切なスピードにするなど注意をするようお願いします。尚、シールドの開閉操作及び、ベンチレーションシャッター操作は、必ず停止した状態で行ってください。走行中の操作は危険です。

乗車用ヘルメットの有効期間は、「購入後3年間」です。

ヘルメットは様々な状況下において使用されるために、見た目以上に劣化が進んでいることがあります。このため、SGマークにはヘルメットの耐久性を考慮して、「購入後3年間」と有効期限を定めて、ヘルメットに表示しております。有効期限を過ぎたヘルメットは、事故の際に十分な保護性能を発揮できない場合が多く、正常に使って異常が認められなくても、ご購入後3年以内に交換してください。

SGマークの制度について

このヘルメットにつけられているSGマークは、万一ヘルメットに欠陥があり、製品安全協会の定めるSG基準に適合していないために、着用者が損害を被った場合に、その損害を賠償するものです。なおプロオートバイレースやサーカスなどの特殊な用途に用いている際の負傷や、SG基準が定めるヘルメットの性能を超える強い衝撃を受けたための負傷などは賠償の対象になりません。

SGマークに関するお問い合わせ先

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F
TEL: 03-5808-3300(代)